

ナマステ

特定非営利活動法人
自然文化誌研究会 会報誌

108 号

2012 年 5 月 20 日発行号

2 ヶ月前は雪の中で味噌を作っていたのに、あっという間に新緑のまぶしい季節となりました。既に夏を意識しながら生活しています。季節の変化はとてものありがたいことだと実感しています。



今年も味噌をつくりました。大豆は不出来だったので岩手県から購入。米麴は、はるちゃんの実家につくってもらいました。小菅村の船木民宿のアキ子さんに指導に来ていただき、そば打ちとこんにゃくづくりも同時に行いました。また、夜には山梨県牧丘町より「ひでやんくん」が飛び入りで、野外バーを開いてくれて、大賑わいとなりました（＾＾）

4 月 22 日、立川市の昭和記念公園にて、「立川環境フェア」が開催。小菅村のヤマメの塩焼き、青柳竹男さんの手づくり純粋ハチミツを持って、本会と小菅村の宣伝をしてきました。



この日も天気が不安でした。

4 月 29 日は毎年恒例の「野草の天ぷらとお茶つみの会」を東京学芸大学内で開催しました。講師には岩谷美苗さん、宮本透さんに来ていただきました。晴天の中、例年どおりにまったりとしました。



完成した後、新茶会を開きました。

活動報告

その 1 冒険学校「みなかみ雪中キャンプ」 3.30~4.1(2泊3日)

昨年は震災の直後で、中止となった『冒険学校 みなかみ雪中キャンプ』。今年は全国的に雪が多かったので、満足のゆく積雪量の中での活動となりました。中日には雨に降られたけれども、2泊3日を過ごしたメンバーは、とっても遅くなりました！参加者の皆さん、スタッフの皆さん、三菱 UFJ 環境財団の皆さん、講師の皆さん、ありがとうございます～！



長靴に雪が入らないようにガムテープで補強！



雪を平に均してから、テントを設営



焚き火も生活も全ては雪の上



2泊3日よくもまあ、こんな雪の中で生活したものだ～。

3/30 (DAY1) 水源の森到着、テント設営、焚き火、ソリ遊び、ミニスキー、雪洞づくり

3/31 (DAY2) 雪山登山、雪洞づくり、焚き火、郷土食（ぼた、キノコ汁）

4/1 (DAY3) キャンプ地撤収、片付け、温泉で寒さから解放！



雪山登山は、地元の森田さん、田村さんに講師としてご指導をいただきました。

また、雨対策については、三菱 UFJ 環境財団の皆さんがテキパキとブルーシートで屋根を作ってくれました。

冒険学校「みなかみ雪中キャンプ」は日本たばこ産業（JT）より『2011 年度 JT 青少年育成に関する NP0 助成事業』助成を受けて開催しました。

その2 冒険学校「むらまつりキャンプ」

5.4～5(2泊3日)

5月3日の早朝、なかなか止まない雨の中、「小菅村に通じる道路は全て通行止め」となりました。相談の結果、翌日の5月4日より1泊2日の日程で開催を決定した今年の「むらまつりキャンプ」。そんな中でも、参加者の皆さん、スタッフの皆さん、集まってくれてありがとうございます！ 来年はきっと晴れますよ！！



カッパを着て、源流祭りの会場へ



囲炉裏でヤマメを焼きながらまったりと♪



山菜採りの休憩中。ヘリポートにて。

＜参加者のご感想＞

ぼくは山さいとりが楽しかったです。
「ワラビ」「タラノメ」「ヨモギ」などを取りました。しかのウンコも落ちていました。けど一番うれしかったのは「アミガサダケ」というキノコを見つけた事です。なぜならフランスの高級食材と言われたからです。
その他にもブランコやナイトハイクなどあって楽しかったです。

鈴木健介くん（小4）



夏に向けてじゃが芋を植えました！



小菅の湯に入って、もうすぐ小菅村を出発です。

5/4（DAY1） 多摩源流祭り、五右衛門風呂、焚き火、テント張り、ヤマメの調理、ナイトハイクなど

5/5（DAY2） 山菜採り、芋植え、豊富な水量になった白糸の滝、小永田地区神代神楽、温泉に入って解散～♪

じゃが芋は半分ぐらい、イノシシに掘られてしまいましたので、トマトやナスを植えておきましたよ～。

活動案内

その1 冒険学校「こすげ冒険学校」

8.2~8.8(6泊7日)

小菅村の自然と文化を満喫しながら過ごす 6 泊 7 日の長期キャンプです。川遊びでは飛び込んだり、魚がいっぱいいる淵で泳いだり、魚を捕ったり、思う存分に遊び続けよう！！寒くないように焚き火をしながら、お風呂も沸かしておこう。毎晩星を眺めながら眠くなったら寝てしまおう！！ツリークライミングも行う予定です。一緒に山の中や村の暮らしを探検してみよう～！！6 日間遊び続けて、みんなで楽しいキャンプをしましょう～！



日 程：8月2日（木）～8月8日（水）6泊7日
場 所：小菅村のいつものキャンプ場
宿 泊：テント・ログハウス・野宿などで寝袋

対 象：小学校3年生～中学校3年生 20名
参加費：会員：¥25,000 非会員：¥27,000
申込み：7月13日（金）まで、先着順です。

その2 冒険学校「やまめキャンプ」「いwanaキャンプ」 8.11~8.13

「小菅村をぜひ体験してみませんか？」1泊2日のキャンプをしながら、小菅村の自然と文化を感じるキャンプを行います。親子での参加が可能なキャンプです。大人の方もお子さまと一緒に、小菅村の自然や文化に触れてみませんか？ 一緒にキャンプをしながら、野外で食事をつくり、思いっきり遊びながらテントで休めます。「自然」という名の遊び場は最高ですよ。今年も「やまめキャンプ」「いwanaキャンプ」と連続して行います。連続で参加して2泊3日のキャンプにすることも可能ですよ～！！

「やまめキャンプ」：8/11～12 1泊2日 「いwanaキャンプ」：8/12～13 1泊2日

※連続での2泊3日OKでゆっくり過ごすこともできます！

場 所：小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊：テント・ログハウス・野宿など

対 象：小学校3年生以上は子どものみの参加可能。20名

申込み：7月13日（金）まで、先着順です。

参加費：1泊2日親子での参加：20,000円(会員)

※ 連続参加、子どものみの参加は割引します。



夜は小菅村のお祭りも見に行きます！



川遊びだ！魚捕りだ！この後は、五右衛門風呂だ！

参加の申込は事務局まで、E-mail かハガキで、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、年齢(学年)をご記入の上、お気軽にお申込ください。お待ちしております～♪

その3 「タイ環境学習キャンプ」

8.18~8.27(9泊10日)

今年もタイキャンプへ行きます！！今回も首都バンコクから車で数時間、ウタイタニー県バンライ郊外の「パンダキャンプ」を拠点に活動を展開します。毎年訪れているファイカケン野生動物保護区は世界遺産であり、観光客はもとより、地元の方でも許可がなければ入れません。貴重な動物を見て、密猟者から保護区を守るレンジャーからの話は興味深く楽しみです。



少数民族のカレン族の集落訪問、伝統工芸品の製作など体験内容を充実させています。恒例の現地教員とのワークショップも好評となっています。高層ビルの立ち並ぶバンコクと少数民族が暮らす亜熱帯の森に皆さんは何を感じるでしょうか？通訳、ガイドも同行し、

現地のラジャバト大学との連携もありますので安心してご参加くださいませ！！



日 程：8/18（土）～27日（月）

対 象：高校生～一般（中学生以下は要相談）

参加費：会員 150,000 円 非会員 160,000 円

※航空券と現地での費用が含まれています。

申込み：6月14日（木）締め切りですが、航空券の手配がありますので、まずは事務局までご連絡ください。また、パスポートを持っていない方は、急ぎ用意する必要があります。出発前に事前に参加者ミーティングも行いますのでご安心を！

日時	活動内容	備考
8月18日（土）	成田→バンコク	グランドビューホテル泊（ラジャバト大学内）
8月19日（日）	バンコク→バンライ	パンダキャンプ泊
	・サム・チュク古市場 ・歓迎会	
8月20日（月）	バンライ→ファイカケン野生動物保護区	ファイカケン野生動物保護区ゲストハウス泊
	・野生動物観察 ・バードウォッチング	
8月21日（火）	バンライ→ファイカケン野生動物保護区	ファイカケン野生動物保護区ゲストハウス泊
	・野生動物観察 ・バードウォッチング	・レンジャーとの交流
8月22日（水）	ファイカケン野生動物保護区→バンライ	パンダキャンプ泊
	・バードウォッチング ・少数民族の学校訪問	・カレン、ラオ族の集落訪問（竹工芸品制作体験）
8月23日（木）	バンライ（パンダキャンプ）	パンダキャンプ泊
	・ティーチャーワークショップ ・タイマッサージ	
8月24日（金）	バンライ→バンコク	グランドビューホテル泊（ラジャバト大学内）
	・ラジャバト大学環境施設見学	
8月25日（土）	バンライ→バンコク	グランドビューホテル泊（ラジャバト大学内）
	・ラジャバト大学交流会 ・バンコク市内観光	
8月26日（日）	バンコク市内	グランドビューホテル泊（ラジャバト大学内）
8月27日（月）	バンコク→成田	

※日程表は例年のものです。プログラムは毎年変化していますので二度目の参加でも飽きませんよ～。

既に小学生が1名、申し込んでいますぞ！

その4 のびと講座「源流での登山道整備」 7.28~30(2泊3日)

甲武信ヶ岳は、山梨県・埼玉県・長野県の分水嶺となっており、荒川・千曲川・笛吹川の3つの河川の水源地です。ここから流れる水を飲み水、生活用水として利用しています。私たちの生活にかかわりの深い上流で、本当に美味しい源流の水を味わいながら、登山道での草刈り、整備を行い、一緒に汗をかきませんか？

甲武信小屋のご主人・山中徳治さんのお話を交えて、源流と流域のつながりを身をもって感じる講座です。

体力があまりないのでちょっと自信が・・・という方でも、自分のペースで活動できますよ。

日程：7月28日(土)~30(月)2泊3日

場所：甲武信ヶ岳と甲武信小屋の登山道

宿泊：甲武信小屋(山小屋に泊まります！)

参加費：会員：¥12,000 程(宿泊費・交通費・保険代など)

対象：高校生~一般15名(中学生以下は要相談)

申込み：7月13日(金)まで、先着順です。



みんなで力を合わせて働き、汗を流します。

その5 「INCH祭り」~「INCHライブ2012」と「のびと講座きのこキャンプ」で楽しくやっちゃいましょう！！ 9.29~30(1泊か日帰り)

春に行く「野草の天ぷら会とお茶つみの会」と同じく、会員の皆さまが気軽に参加できる秋の一大イベント「INCH祭り」を開催します！ログハウスのあるキャンプ場で、昨年も開催した「INCHライブ」と「のびと講座きのこキャンプ」を開催し、秋の味覚を堪能しながら楽しい時を過ごしましょう！

本会代表理事中込卓男のバンド「チョークス」。彼の職場の友人、山田義守さんのバンド「座」(アコースティックハーモニーフォーク)、キャンプで村長を務める本会理事の鈴木英雄によるワンマンショー、廣瀬屋旅館の若旦那、小菅村民による笛の共演、加藤翔くんのギター、よいしょバンドなどなど、まだ調整中ですが、多くの皆さまにご参加いただく予定です。

普段会えないみなさま、キャンプでしか会えないみなさま、ライブをBGMに、のんびりとお酒、お茶でも飲みながら過ごしませんか！！

音楽を愛する方は楽器持参で、腕に自信のある方もない方もぜひぜひお越しください♪

きのこに興味のある方は、一緒に山に入ってきたきのこを採りに行きましょう！！



■日程：9月29日(土)~30日(日) 日帰りもOKです。

第1部 13:00頃から開演「まじめなアコースティックコンサート」

※一流のバーテンダーにも来てもらう予定です。お楽しみに！！

■会場：山梨県小菅村いつものキャンプ場

■参加費：※非会員の方はこの機会にぜひ会員に！

ライブのみの参加 会員 500円(高校生以下無料)

きのこ採りをされる方 会員 3,000円

泊まりの方 1泊1,000円(ログハウスかテントで寝袋)

■交通機関

※小菅村までの交通は自力になりますので、よろしくお願いします。バスの時間などをご相談ください。

■お申し込み：ライブの当日参加はOKですが、きのこ採りに参加される方は保険に加入しますので、9月26日(水)までにお申し込みください。

『INCH の楽しい仲間たち』 vol.3

昨年の夏休み休暇は、「やまめ・いわなキャンプ」のために日程を調整し、遠く福岡より、間に合うように来て間に合うように帰った、通称「まーしー」の横山昌佳くん。東京学芸大学卒の 26 歳、独身。現在は浦和に住んでいます。横山くんからのメッセージです。

『雨キャンプの思い出～むらまつりキャンプより』

「土砂降りのキャンプは思い出に残るんだよ」、と佐々木のおっちゃんの言った通りに、今回のキャンプは印象深いものになった。雨。雨。また雨。雷が鳴って雹が降って、川はごうごう、お祭りの会場はどろどろ。開始は4日からに延びてしまい、薪は燃えない、靴はびしょ濡れ、良いことといえばブヨが出ないことくらいだ。そんな今回の「むらまつりキャンプ」、ぼくは風馬の無謀な誘い——黒ちゃんとはるちゃんにずいぶん心配をかけてしまった——を受けて、通行止めの交通事情を確認せずに出発。結果オーライの形で何とか前日入りを果たした。

おっちゃんの作った里芋を食べ、ビールを飲み、寝袋を引っ張り出してその夜はすばやく寝た。翌日も、やっぱり雨。葵ちゃんと道具箱を整理するうちにみんなが到着し、テントは後回しでお祭り会場へ。会場は前述の通りどろどろのびちゃびちゃ。足元ばかり気になったけれど、クリーム・チーズがみそ「福生ドッグ」を食べ、ビールを飲み、すっかり大人びたさくらに挨拶をしてキャンプ場に帰った。日向はさんざん迷った末に「からポテ」と「鯛焼き」を食べ、進路は HONDA のブースでせっせと自動車の模型を作っていた。

ぼくが福岡にいるうちに、スタッフもずいぶん知らない顔が増えたけれど、あまり積極的に声はかけない。今回のキャンプは新しい役割を担いたいと思っていたから、大学生とは適当にお付き合いして、子供たちも任せ、あとはこれまでしたことのないことをしようと思った。それで、薪割りをした。ぼくは下手もいいところのド下手くそなので、恥ずかしいからあんまりやらないのだけれど、でももう一度ちゃんと教わってやってみたのだ。「速さが大事なんだよ」と例の水戸訛りでおっちゃんが説明する。「でもあんまり速いとコントロールが悪くなるから……」ぼくは素直にしたがって鉞を持ち、「左ひじを引く！」パコンと割った。

その成果が出たかどうかはともかく、薪割りをやるとやっぱり子供たちが寄ってくるので、おっちゃんの受け売りをそのまま教え伝える。繰々と健介は「周りチェック！」「足を広げる！」と楽しげにやるのでこちらもじつに楽しい。ことに健介は楽しかったようで、ご家族が遠巻きに見守る中で一生懸命取り組んでいた。

雨だと東屋が賑やかだ。「これが基本形です」、とおっちゃんが例のなぞなぞをやりだした傍で、ちょいちょい、と風馬を呼んで背もたれにし、対岸の新緑を眺めつつビールを飲む。キャンプ

場ではいくらでもビールが入るのだ。そのうちにうまいカレーが出てきて食べ、ビールを飲み、お松焼きへと向かった。今年の花火は昨年できなかった分もあってか、BGMも流れてずいぶん凝っていた。福島の花火が胸にしみた。

キャンプ場へと帰る道々、葵ちゃんが「あと何メートル？」とぼくに尋ねるので、「あと 550 メートルだよ」と答える。その適当さ加減がおもしろかったのか、葵ちゃんはそのあと何度も同じことをたずね、ぼくも同じように返した。雨は止んだが星は見えない。ふと、昔この道を大地と大ちゃんと歩いて、途中でアスファルトに寝転んだことなどを思い出す。思い出に残るのは花火だけじゃないんだ。

「あと何メートル？」・・・「340 メートルだよ」

「あと何メートル？」・・・「ほら、ここが 250 メートルのライン」

「あと何メートル？」・・・「180 メートルになった」

「……………」・・・「……………」

夜はやっぱりビール片手に、囲炉裏端で、あるいはベンチに輪になって、思い思いに語り過ごす。やぎ（小柳由香：現在小学校教諭）の壮絶な恋愛譚はいつしかただのノロケになったので解散し、大ちゃんと、甲斐と火を囲んで遅くまで話した。周りに転がっているのはアザラシではなく、寝袋に入ったあやちゃんやまつた。深夜に対岸の森からピィ！ ピュイ！ と鳴く鹿の声を聴いて、昔、ヘリポートへ向かう自動車で見た、金色に光る二つの眼を思い出した。

翌朝は当然のように寝過ごす。雫さんがうまいコーヒーを淹れてくれて、薪割りをしつつ、きれいに晴れた山々を眺める。白糸の滝に行けば「白糸」どころではなく水量が豊かで、岩場に仁王立ちした甲斐は背中をびしょより水しぶきで濡らした。そのあとみんなで休み休み坂を歩いて下り、杉林に差し木漏れ日や、幼木の葉、山桜のピンクに眼を吸われつつ、心穏やかにキャンプ場へ帰った。

帰りたくないな、と思ったので、帰りたくない、と正直に伝える。それで夕方から七輪で餅を焼いて、ビールのみ、オーナーのヨシさんに日本酒を勧めて、酔って、寝て、眼が覚めて朝 6 時、熾き火で火を起こし、湯を沸かし、鳥が鳴いて、佐々木のおっちゃんも起きてきて、コーヒーをのみ、ああ、と息つき、ふと見れば、柱に立てかけられた黒板に子どもの字で、雲囲みの次の言葉が書かれていた。ぼくの今の気持ちそのものだった。

なつのキャンプたのしみ！！

『植物と人々の博物館』 vol.8

5 月 4 日の「第 25 回多摩源流まつり」には新しく整備した展示を開放、東京学芸大学木俣美樹男教授による縁側講座を実施しました。また、トレイルマップの完成、雑穀に関わる事業など前に進んでいます。

①「第 15 回 雑穀栽培講習会」を開催

5 月 12 日（土）快晴の空の下、「雑穀栽培講習会」を開催しました。今年から雑穀見本園の場所を移動しました。小菅の湯駐車場に隣接する畑です。由緒ある畑で、昭和 60 年頃に、アワの献穀を行った畑です。舩木民宿のアキ子さんのお父さんの舩木豊さんが献穀をされた畑です。当時のお話も聞くことができました。



講師には西原（上野原）より中川智さん、丹波山村より岡部良雄さんに来ていただきました。

秋には収穫を行います。小菅の湯の「大地の恵祭り」の日程に合わせて収穫しますので、ぜひぜひご参加ください～！！



種まきの後は、「植物と人々の博物館友の会」総会を行い、展示を更新した、植物と人々の博物館（小菅村中央公民館）にも行きました。

②トレイルマップ 天神山 完成

ミュージアム研究会では、エコミュージアム日本村の取り組みで、セルフガイドマップの作成を進め、「天神山マップ」を完成させました。天神山は小菅村役場裏にある城址です。

地域おこし協力隊の青柳博樹さん(ういろう)のデザイン協力に感謝です。



次は小菅村中心に位置する「三つ子山」のマップ作りに取り組む予定です。

③第 26 回雑穀研究会シンポジウム

雑穀研究会シンポジウムを 10 年ぶりに小菅村で開催します。雑穀に興味のある方はぜひご参加してみませんか？

- 日時：2012 年 9 月 1 日（土）～3 日（月）
- 会場：小菅村、西原（上野原市）の周辺地域
小菅村内、植物と人々の博物館、雑穀見本園など
- 内容：研究発表、地域の巡検、
小菅の古老の今昔話など
- 参加費：20,000 円（2 泊 3 日の宿泊、温泉、懇親会、雑費含む。保険は各自ご加入ください。）
- 締切：8 月 20 日頃ですが、本会が担当事務局なので、ご相談ください。次号のナマステ 109 号にて詳細をご案内いたします。
- 研究発表の申し込みは 8 月 10 日ごろです。

『小菅村の動き』 vol.8

今年はよく雨が降りますね～。川の水量は例年以上で見るだけでも気持ちよいです・・・が、飛び込む淵は去年の台風 2 連発もあり埋まってしまいました。新しい遊び場を見つけなくては！！

①「第 25 回多摩源流まつり」開催

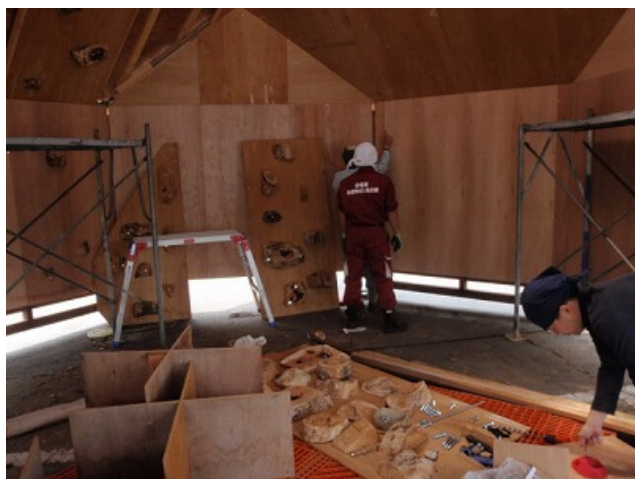
昨年度は震災の影響もあり中止となった「多摩源流まつり」。今年は天気には恵まれませんでした但予定どおり開催されました。本会も「むらまつりキャンプ」の中で、お祭りの会場を訪れました。夜には雨も上がり、お松焼き、打ち上げ花火を楽しむことができました♪



おまつりの会場はぬかるんでいて、「田んぼ」と呼ばれちゃいました。

②小菅村にボルタリングルームがっ！？

小菅の湯駐車場の隅で建築中の建物。何を作っているのか覗かせてもらって・・・ボルタリング(クライミング)の一種。ロープを使わない)の準備が進められていました。ホールド(手がかり)は木を活かしたお手製で、「世界に一つしかないよ！」とのこと完成をお楽しみに！



木登りでもご指導いただいた皆さんを中心に進められていました。

③畑の獣害について

相変わらず、畑の獣害は多いようです。今シーズン既に、畑に植えたジャガイモを掘り返されたというお話を数件聞いています。そして、「むらまつりキャンプ」でみんなで植えた INCH のジャガイモも、半分ぐらいイノシシに掘り返されてしまいました・・・、悔しいっ～！



新しく畝を作ったかのように、きれいに掘り返していきますな。

小菅村猟友会により毎週、有害鳥獣駆除が実施され、実績も上がっているのですが、それでも畑の被害はなかなか減らない現状です。

④村コン開催！（小菅村地域おこし協力隊）



最近流行りの村コンが 5 月 19 日に小菅村で開催されました。「はる こい こすげ 人と自然が触れ合うひととき～じょ～流からのプレゼント～」15 名が参加されたそうです。小菅村地域おこし協力隊により、新しいイベントが企画されています。小菅村 HP もご覧ください！

○ 今後の活動予定のお知らせ (2012 年夏)

- 6/10 青梅環境フェア出展 @青梅市釜ヶ淵市民センター 10:00~14:00 ヤマメの塩焼き♪
- 7/28~30 のびと講座『源流での登山道整備』@甲武信小屋周辺 2泊3日
- 8/2~8/8 冒険学校『こすげ冒険学校』@小菅村 6泊7日
- 8/11~12 冒険学校『やまめキャンプ』@小菅村 1泊2日
- 8/12~13 冒険学校『いwanaキャンプ』@小菅村 1泊2日
- 8/18~27 のびと講座『タイ環境学習キャンプ』@タイ王国 9泊10日
- 9/1~3 第26回雑穀研究会シンポジウム @小菅村 2泊3日
- 9/29~30 『INCH 祭り』~『INCH ライブ 2012』と『のびと講座きのこキャンプ』@小菅村 1泊2日
- 10/6~8 ELF 環境学習中堅者養成「のびと研修会(CONE コーディネータ養成)」@小菅村 2泊3日
- 12/22~24 冒険学校『まふゆのキャンプ』@小菅村 1泊2日

やまめキャンプ、いwanaキャンプの連続参加で2泊3日可能です!!

『ログビルダー養成講座』は、毎月2回の週末を中心に活動しています。事務局までご相談ください。

○ 事務局より

- 『締め切りはだんだん近づいてくる。ナマステ、報告書、発表・・・うへん。 クロ』
- 『就職して上野原に通っています。キャンプは休みにしか出れないけど、楽しいわ。 はるこ』

○ 事務局の麗しき日々 (というか、何となく近況報告)

- ・きたしよ〜がキャンプ中に男泣き。目撃者多数のもよう。「悔しい!」
- ・はるちゃんは仕事の自信で、「合コンに行きたいっ!」とほざいだ。
- ・翔くんに春が来た!!!小菅の人たちにも紹介していたもよう。
- ・ハズムは親不孝のガキであることを露呈(ツイッターより)。
- ・高校生スタッフになった風馬は・・・緊張していたもよう。
- ・ひるまん、しの、まーしーが「結婚したい!」とうるさいもよう。
- ・木俣さんはフランスを回遊しているもよう(研究発表のもよう)。
- ・なみへ〜がメディアに出て時代の寵児なもよう(詳細はHPを!)
- ・雫がキャンプに5年ぶりに復帰した。少しは落ち着いたもよう。
- ・INCH 軽トラが車検を通った。まだまだ乗るぜ!現在15万km。

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか?

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』『ELF 環境学習中堅指導者のびと研修会』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。



ナマステ 108 号

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 6 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額（1～12 月）です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正 会 員：10,000 円 一般会員：5,000 円

学生会員：3,000 円 賛助会員（個人・団体）：10,000 円

家族会員（一家族）：6,000 円 特別維持会員：100,000 円

小菅村特別会員：1 口 1,000 円から

郵便振替口座：00100-2-665768

口座名：特定非営利活動法人自然文化誌研究会

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日>2012 年 5 月 20 日

<編 集>自然文化誌研究会 事務局

<発 行>特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局>〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4115

TEL：0428-87-0165

携 帯：090-3334-5328（黒澤）

E-mail：npo-inch@wine.plala.or.jp

H P：http://www2.plala.or.jp/npo-inch/

次回「ナマステ 109 号」は 7 月上旬の発行を予定しています。お楽しみに！！